

「教育ブランドひかり」その先へ

教育目標の実現に向けて諸施策を進めるにあたり、ふるさと光市の将来を担う子どもたちの教育を中心として重点的に取り組む教育戦略「教育ブランドひかり」を継承・発展させ、次の5つの取組を通して、光市ならではの教育を創出します。

■ 「いつでも・どこでも・だれとでも」学べるICTを活用した学習活動の充実

社会の情報化が急速に進展する中で、「いつでも・どこでも・だれとでも」学べるICTを効果的に活用した学習活動を通して、情報活用能力の育成を図るとともに、個別最適な学びと協働的な学びを充実し、子どもたちの可能性を最大限に引き出す新たな学びを構築します。

■ グローバル化に対応する英語教育「イングリッシュプラン光」の充実

小学校1年から中学校3年までの9年間の学びの連続性を活かした、本市の英語教育「イングリッシュプラン光」を通して、コミュニケーション活動や国際交流体験活動の充実を図り、子どもたちが英語を楽しく積極的に使おうとする態度や英語を用いたコミュニケーション能力の育成を図ります。

■ ふるさとを愛し豊かな心を育む「光市民学」の展開

「光」を探究する学び「光市民学」を通して、ふるさとを愛する心を育み、その素晴らしさを発信し光市の未来を切り拓いていく子どもを育成するとともに、コミュニティ・スクールの仕組みを活かし、子どもたちとともに大人も楽しく学び自己を高める市民学へ発展させます。

■ 幼児期から18歳までを見通した「次世代型コミュニティ・スクール」の進化

学校と家庭、地域が9年間を見通した教育目標や目指す子ども像を共有しながら子どもたちを育む、本市独自の「次世代型コミュニティ・スクール」を要として、幼児期から18歳までを見通した、幼保、小・中、高等学校の「学び」と「育ち」をつなぐ連携・協働教育を推進します。

■ 小中一貫教育の「学び」と「育ち」を支える新たな学校づくりへのアプローチ

「光市立学校の将来の在り方に係る基本構想」に基づき、学校や地域の実情に応じて、段階的に小・中学校の施設が同一敷地内で接続または一つに合体した、施設一体型による小中一貫教育の具現化に着手し、小中一貫教育の更なる効果を生む学校づくりを推進します。



これからの 光市の教育

教育理念「連携と協働で育む 光の教育」

教育目標「夢と希望にあふれ 未来へ輝く『光っ子』の育成」

「光っ子」のすがた

- ◆ 知・徳・体の調和がとれた「生きる力」を身に付け、人々と協働しながら社会に貢献する人
- ◆ ふるさとに誇りと愛着をもち、グローバルな視点に立って夢に挑戦する人
- ◆ 生涯にわたり学ぶ意欲に満ち、芸術やスポーツに親しみながら生き生きと暮らす人

施策の柱 1

未来社会を自立的に生きる力を育む教育の推進

施策の柱 2

学校・家庭・地域のつながりを活かした教育の推進

施策の柱 3

生涯にわたって自己の可能性を広げる環境づくりの推進

施策の柱 4

社会の変化を見据えた教育環境の整備・充実



光市では、「第2次光市教育大綱」に掲げた教育目標を実現するため、今後5年間で本市が取り組む教育施策を整理した「第2次光市教育振興基本計画」を令和4年3月に策定し、本市教育のさらなる質の向上に努めています。ここでは、本計画に示した「4つの施策の柱」について紹介します。

柱1 未来社会を自立的に生きる力を育む教育の推進

幼児教育・保育においては、家庭、教育・保育施設、学校などが連携して全ての子どもが健やかに成長するための養育環境の向上を目指します。
小・中学校においては、「小中一貫教育」を要として、幼保、小・中、高等学校の「学び」と「育ち」をつなぐとともに、ICT環境も積極的に活用しながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、知・徳・体の調和がとれた「生きる力」を育んでいきます。
子どもたち一人ひとりの個性や特性に応じた、きめ細かな支援を実施していきます。

に、ICT環境も積極的に活用しながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、知・徳・体の調和がとれた「生きる力」を育んでいきます。
子どもたち一人ひとりの個性や特性に応じた、きめ細かな支援を実施していきます。



GIGA スクールひかり ～ICT を活用した学習～

具体的施策

- コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進
- 幼児教育・保育環境の充実
- 確かな学力を育む教育の推進
- 豊かな心を育む教育の推進
- 健やかな体を育む教育の推進
- 学校における人権教育の推進
- 一人ひとりを大切にする特別支援教育の推進
- 多文化共生社会に向けた教育の推進

生涯にわたって自己の可能性を広げる環境づくりの推進

柱3

芸術や文化に市民が気軽にふれあえる機会を創出するため、文化財・歴史的資源の適切な保存・継承を行い、多くの市民が芸術・文化に親しむことのできる環境の整備に努め、ふるさとの歴史への誇りや愛着が持てる取組を推進します。

スポーツを通じて健やかな心と体を育むため、乳幼児から高齢者まであらゆるライフステージに応じて、主体的に楽しむことができる生涯スポーツの推進や自然環境を活用したスポーツイベントの開催などに努めています。



文化財の継承 ～石城神社本殿保存修理事業～

具体的施策

- まなぶ・いかす・すすめる生涯学習社会の推進
- 地域社会における人権教育の推進
- 地域文化の保存・活用・継承
- 芸術・文化活動の振興と活性化
- 歴史・文化施設の利用促進と環境整備
- 市民の身近にある図書館の運営と充実
- スポーツに親しみ、楽しめる環境の充実
- スポーツ施設の活用と充実

「夢と希望にあふれ 未来へ輝く『光っ子』の育成」

柱2 学校・家庭・地域のつながりを活かした教育の推進

本市では、「おっぴい都市宣言」のまちとして、子ども・子育てに関する総合相談支援体制の充実や子育てにやさしい環境づくりを推進しています。

また、中学校区単位の「次世代型コミュニティ・スクール」の中で、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもたち

の「学び」や「育ち」を地域ぐるみで見守る地域学校協働活動を推進するとともに、「家庭教育支援チーム」による子育てや家庭教育の支援を実施しています。

さらには、青少年健全育成活動を推進するとともに、いじめや不登校に対する相談体制の充実に努めています。



コミュニティ・スクールの取組～校区安全マップづくり～

具体的施策

- 次世代型コミュニティ・スクールの充実
- 地域ぐるみの子育て支援の充実
- 家庭教育支援の充実
- 社会教育活動の支援
- 光市民憲章の普及・啓発
- 青少年健全育成の推進
- 青少年関連施設の管理・運営

社会の変化を見据えた教育環境の整備・充実

柱4

学校施設は、児童生徒が日々集う「学びと育ちの拠点」であると同時に、コミュニティ・スクールとしての様々な活動を支える「交流の拠点」でもあります。

小・中学校においては、施設の整備や通学路の安全点検、安全教育の徹底など、安全・安心対策を最優先に取り

組んでいます。また、児童生徒1人1台のタブレット端末の導入など、教育環境の整備・充実に努めています。

安全・安心な学校給食の提供や就学の支援、学校における働き方改革の推進などにより、社会の変化を見据えた教育環境の整備・充実に努めます。



新たな学校づくり ～小中一貫やまと学園説明会～

具体的施策

- 将来に向けた教育環境の整備
- 安全・安心な学校づくりの推進
- 質の高い教育環境の整備・充実
- 健やかな心と体を育む学校給食の充実
- 就学の支援
- 教職員の資質・能力の向上
- 学校における働き方改革の推進
- 教育に関する先導的調査研究の推進